

製品安全データシート



1, 化学物質等及び会社情報

製品名 (容量分析用) 0.05mol/L 臭素溶液 0.05mol/L Bromine solution
整理番号 95432
作成日 2007年2月22日

会社名 純正化学株式会社
本社住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 4-4-16
電話番号 03-3270-5411 FAX番号 03-3241-8298
緊急連絡先(MSDS作成担当)
担当部門 品質保証部 担当者 菅野英奇
担当住所 〒343-0844 埼玉県越谷市大間野町1-6
電話番号 048-986-6161 FAX番号 048-989-2787
E-mail: h_kanno@junsei.co.jp
<http://www.junsei.co.jp>

用途と使用上の注意: 本製品は試薬ですので、試験研究用以外には使用しないで下さい。

2, 危険有害性の要約

[GHS分類]

健康に対する有害性
急性毒性 経口 :区分外

(注)危険有害性の分類で、「分類対象外」及び「分類出来ない」は項目を省いた。

[GHSラベル要素]

[GHS絵表示]

なし

[注意喚起語]

なし

[危険有害性情報]

なし

[注意書]

なし

3, 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

(JIS K 8001 4.5 (13.2) 0.05mol/L 臭素溶液 より調製)

成分 1

化学名: 臭素酸カリウム

化学式: KBrO_3

CAS No:7758-01-2

含有量:0.28%

化審法:1-109

安衛法:公表

成分 2

化学名:臭化カリウム

化学式: KBr

CAS No:7758-02-3

含有量:1.5%

化審法:1-108

安衛法:公表

成分 3

化学名:水

化学式:H₂O

CAS No:7732-18-5

含有量:成分1と2の残量

化審法:同方

安衛法:公表

4, 応急措置

吸入した場合:新鮮な空気と安静。必要な場合には人工呼吸。医師に連絡。

皮膚に付着した場合:汚染された衣服を脱がせ、水と石けんで皮膚を洗浄。医師に連絡。

眼に入った場合:先ず数分間、多量の水で洗い流す(できればコンタクトレンズをはずす)。医師に連れて行く。

飲み込んだ場合:意識あるなら、口をすすぎ、2 - 4杯の牛乳か水を与える。意識なければ、何も与えない。医師に連絡。

5, 火災時の措置

本品不燃物

消火剤

水スプレー、粉末消火薬剤、AFFF(水性膜泡消火薬剤)、泡消火薬剤、二酸化炭素。

使ってはならない消火剤

データなし

消火方法

周辺火災の場合、出切る限り速やかに容器を火災現場より遠ざける。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。

着火した場合は風下の人を退避させ火元への燃料源を断ち、風上より消火剤を使用して消火する。消火に当たっては保護具を着用する。

特有の危険有害性:酸化性物質

特有の消火方法:データなし

消火を行う者の保護のために着用する保護具:防火保護服、手袋に加え、空気呼吸器等を着用する。

6, 漏出時の措置

人体に対する注意事項

暴露しないよう十分な換気のもと保護具着用して行う。

保護具及び緊急時措置

「8. 暴露防止及び保護措置」における、保護具着用

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。

回収、中和

漏出物をふた付の容器に集め、残留物を砂または不活性吸収剤に吸収させて安全な場所に移す。

7, 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 蒸気、ミスト、ガスが、皮膚に触れたり、吸入することがないように、局所排気したり、保護具を着用する。
- 作業場を換気する。
- 作業中は飲食、喫煙をしない。
- 還元剤との接触に注意する。

保管

- 遮光容器で保管。
- 密栓して換気の良い冷暗所に保管する。
- 還元剤から離しておく。

8, 暴露防止及び保護措置

通気: 換気装置を用いて、ミスト、ほこり、蒸気濃度を低く保つ。

管理濃度: 未設定。

許容濃度: 未設定。

設備対策

局所排気装置

保護具

- マスク等は特に必要ない
- 不浸透性保護手袋。
- 安全ゴーグル。
- 不浸透性保護衣。

9, 物理的及び化学的性質

外観: 無色の透明液体

臭い: データなし

pH: データなし

融点: データなし

沸点: データなし

引火点: データなし

爆発範囲の上限・下限: データなし

蒸気圧: データなし

蒸気密度: データなし

比重(相対密度):

溶解度: 水に溶ける

n-オクタノール/水分分配係数: データなし

自然発火温度:データなし
分解温度:データなし

10, 安定性及び反応性

反応性と安定性:水中で次亜臭素酸となる
避けるべき条件(静電放電、衝撃、振動など):データなし
混触不可物質:還元剤、塩基、酸
危険な分解生成物:
危険な重合反応:しない

11, 有害性情報

急性毒性 経口

臭素酸カリウム LD50 = 157mg/kg ラット
臭化カリウム LD50 = 3070mg/kg ラット
より加算して LD50 = 44000mg/kg と推定され 区分外

急性毒性 経皮

データがなく、分類できない。

急性毒性 吸入:ガス

(GHS 定義による)液体

急性毒性 吸入:蒸気

データがなく、分類できない。

急性毒性 吸入:粉塵ミスト

ミストでの吸入致死毒性試験データがなく、分類できない。

皮膚腐食性 / 刺激性

データがなく、分類できない。

眼に対する重篤な損傷性 / 刺激性

データがなく、分類できない。

呼吸器感作性

データがなく、分類できない。

皮膚感作性

データがなく、分類できない。

生殖細胞変異原性

変異原性に関する試験報告より、弊社では分類できない。

発がん性

2物質とも種々の試験機関で発ガン性物質とは分類されていない。

生殖毒性

データより、分類できない。

特定標的臓器 / 全身毒性(単回暴露)

データがなく、分類できない。

特定標的臓器 / 全身毒性(反復暴露)

データがなく、分類できない。

吸引性呼吸器有害性

データがなく、分類できない。

12, 環境影響情報

- 生態毒性

水性環境急性有害性

LC50 > 30000µg/L 水生生物 (臭化カリウム) なので、分類出来ない。

水性環境慢性有害性

分類出来ない。

13, 廃棄上の注意

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14, 輸送上の注意

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実にこなう。

国連番号: 非該当

品名:

国連分類:

容器等級:

海洋汚染物質: 非該当

15, 適用法令

消防法: 非該当

毒劇法: 非該当

PRTR法: 非該当

労働安全衛生法: 安衛法通知有害物(施行令、別表第九の番号): 非該当

16, その他の情報

参考文献

- メルクインデックス13版 7700, 7701

- STN インターナショナル RTECS ファイル、AQUIRE ファイル

- 危険物船舶運送及び貯蔵規則; 危険物総索引(九訂版) 日本海事検定協会(海文堂)

- NITE GHS 分類マニュアル(H18.2.10 版)

コメント

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

全ての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途、用法に適した安全対策を実施の上でご使用下さい。